



IIXIL

顔認証システム

取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

電気工事は、電気工事士法に基づき有資格者が行ってください。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

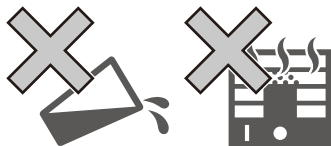
⚠ 警告



●AC100Vを直接接続する機器の取付けは、ブレーカー(AC100V)を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

機器設置上のお願い

- 故障の原因になるため、以下の場所は避けてください。
 - ・水や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所、水や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
 - ・防犯性を確保するため、ガラス窓から近い場所には設置しないでください。



- ・本製品の使用環境温度範囲は-10℃～50℃、使用周囲湿度範囲は30%～90% RHです。温度が上昇するところ(直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど)や-10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。



- 顔認証ユニットに直接太陽光が当たると認証しにくい場合があります。極力太陽光が当たらないような位置への設置をおすすめします。
- 顔認証ユニットに長期間太陽光が当たり続けると補助ライト部が変色する可能性があります。機能や性能に影響はなく故障ではありません。

電気錠取扱い
ポイントブック

施工のポイントをチェック

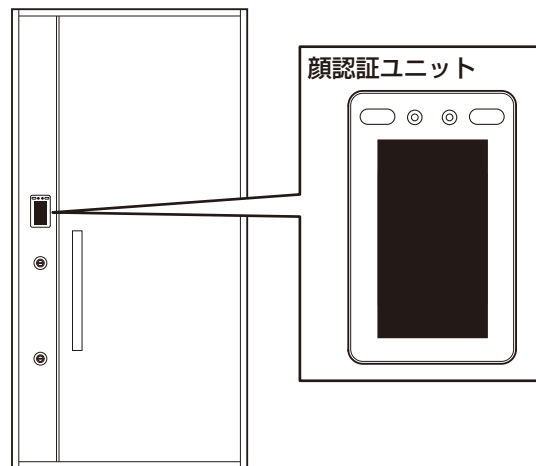
玄関ドア
電気錠サポート

トラブル診断はこちら

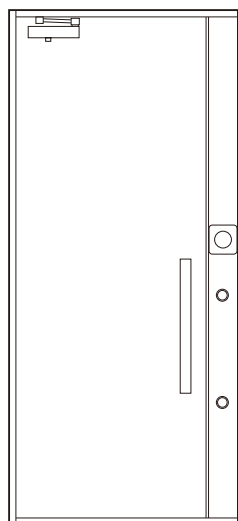


●取付け完成図

【室外側】



【室内側】



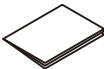
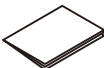
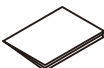
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	配線は指定通りにカチッと鳴るまで接続されていますか？	☐
2	躯体内配線が指定の位置に接続されていますか？	☐
3	動作確認をしましたか？	☐

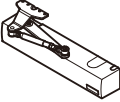
■部品・部材の明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■標準品(顔認証セット内に同梱)

サムターン		
サムターンセット (取付けねじ4本付き)		1
給電用部品		
躯体内配線 5m ※配線に「ACアダプター側」のラベル が付いています。 ※本配線は、継ぎ足す延長はできません。		1
ACアダプター		1
子扉枠側通電金具		1
親扉枠側通電金具 ※自動開閉仕様の場合のみ		1
JEM-A接続コード 5m ※配線に「JEMA機器側」のラベルが 付いています。		1
説明書		
取扱い説明書		1
取付け説明書(本紙)		1
お施主様向け取扱い説明書		1

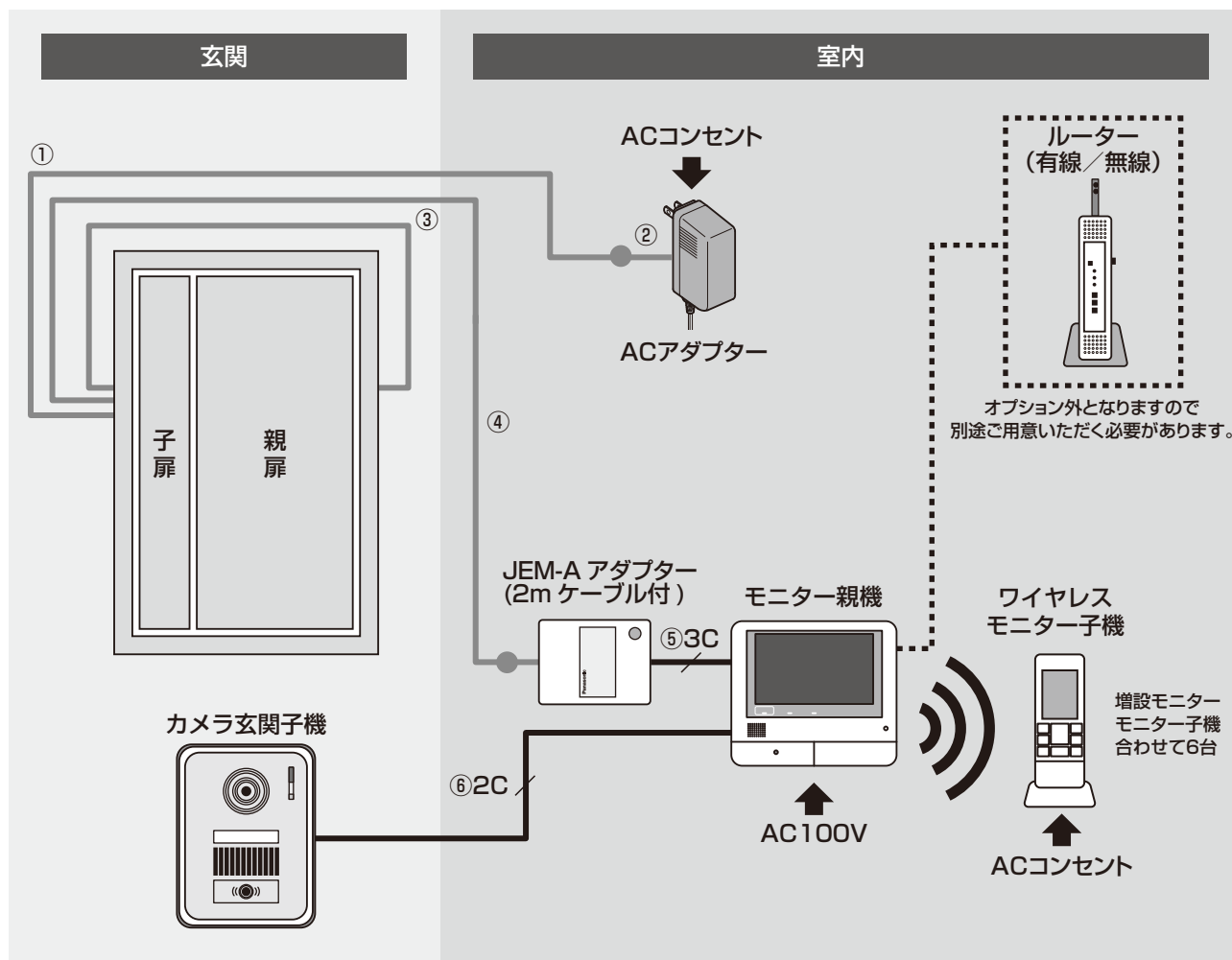
■オプション品

ドアホン	
モニター親機	
JEM-Aアダプター	
カメラ玄関子機	
ワイヤレスモニター子機 (充電台付き)	
電動ドアクローザ	
電動ドアクローザセット	

■現場手配品

スイッチボックス
スイッチボックス(ACアダプター用)
スイッチボックス(モニター親機用)
スイッチボックス(カメラ玄関子機用)

■配線図



●(—)の配線コードは、同梱品です。
●(—)の配線コードは、現場手配品です。

■同梱品

対象	配線名	接続先	配線長
①	躯体内配線	子扉～ACアダプター配線	5.0m※1
②	ACアダプター配線	躯体内配線～ACアダプター	0.3m
③	電動ドアクローザ用躯体内配線※2	子扉～親扉	5.0m
④	JEM-A配線	子扉～JEM-Aアダプター配線	5.0m

※1 延長すると電圧降下により正常に動作しないおそれがあります。記載の配線長内で接続ができるようにACコンセントの配置をしてください。

※2 自動開閉仕様のみ電動ドアクローザセットに同梱

■現場手配品

対象	接続先	配線仕様	最大配線長※3
⑤	JEM-Aアダプター～モニター親機	短芯線(φ0.65～φ0.9)	50m
⑥	モニター親機～カメラ玄関子機		100m

※3 接続できる短芯線の最大の長さです。上記の範囲内での手配をお願いいたします。

■作業工程

	作業内容		
	サッシ工事区分	電気工事区分	ページ
枠	〔枠の取付け〕		—
	1. 通電金具の取付け		5
子扉	〔子扉の取付け〕		—
	2. 通電金具の接続		6
	〔シリンダー・サムターンの取付け〕		—
ドア本体	〔ドア本体の取付け〕		—
	〔クローザの取付け〕		—
電源		3. ACアダプターの取付け ※ 1	7
その他		4. ドアホンの接続	7
確認	5. 動作確認		8

※ []内の項目の取付け方法については各部品に付属の取付け説明書を参照ください。

※ 1 ACアダプターをコンセントに差し込むだけの場合はサッシ工事区分ですが、コンセント工事が発生する場合は電気工事区分になります。

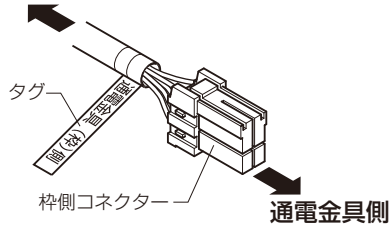
I 通電金具の取付け

※図は子扉側の通電金具を示しています。

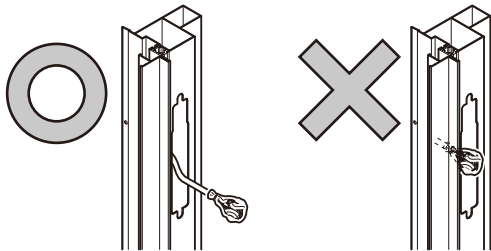
通電金具の取付け上のお願ひ

- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる原因になります。
- ※躯体内配線は必ず組立て前に枠内に通してください。
- ※初期同梱の5m配線からの継ぎ足し延長はできません。
- 躯体内配線は、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線の向きが合っていることを確認してください。

ACアダプター側



- 躯体内配線の枠側コネクタは切欠き穴から確実に引き出してください。



- 躯体内配線を通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。
- 躯体内配線のはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。
- ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合の原因やメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具(枠側)のシールはコネクタ接続時まではがさないでください。
- 自動開閉仕様の場合、子扉側だけでなく親扉側も同様の手順で躯体内配線と通電金具を接続します。詳細は枠の組立て説明書を参照ください。

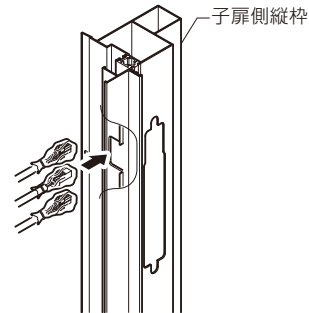
枠を通す配線は、オプション構成によって数が変わります。オプション構成と使用する配線の対応関係は下記をご確認ください。

使用配線	オプション構成			
	なし	ドアホン	自動開閉	ドアホン自動開閉
躯体内配線	○	○	○	○
JEM-A 接続コード	※1	○	—	○
電動ドア クローザ用 躯体内配線※2	—	—	○	○

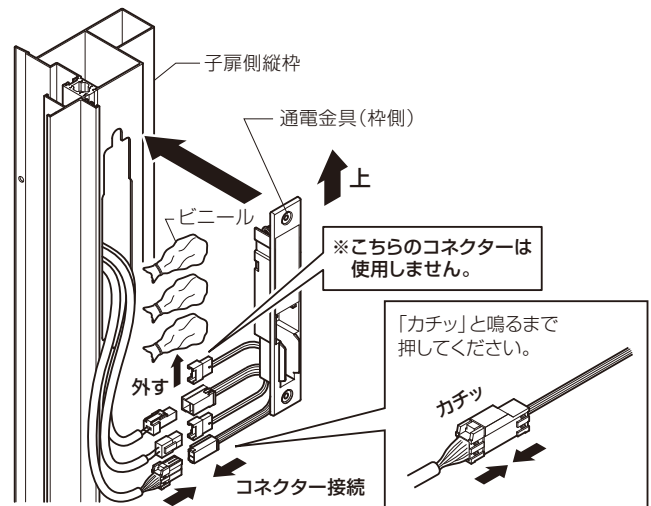
※1 ドアホンを接続しない場合は使用しませんが、後からドアホンを接続する可能性があるため配線は通しておくことを推奨します。

※2 配線は電動ドアクローザセットに同梱

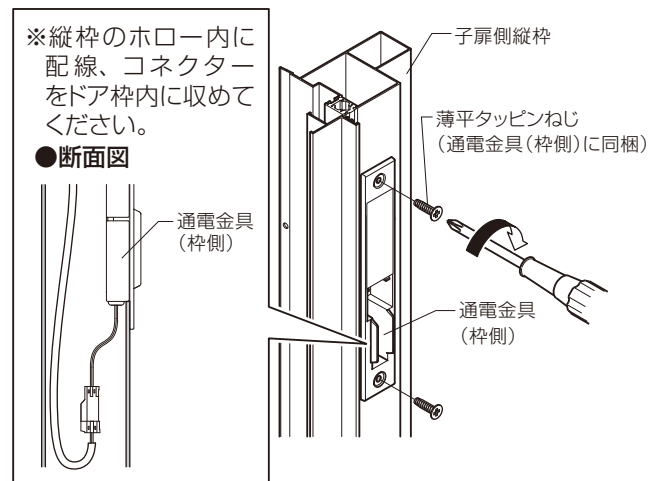
- ①躯体内配線を吊元側縦枠に通してください。
※使用する配線は左下の表をご確認ください。



- ②コネクタを通電金具(枠側)に接続します。



- ③通電金具(枠側)を枠に取付けてください。



※通電金具から出ているコネクタは接続の有無に関わらず、上記のイラストの様にコネクタが下向きになるようにドア枠内に収めてください。

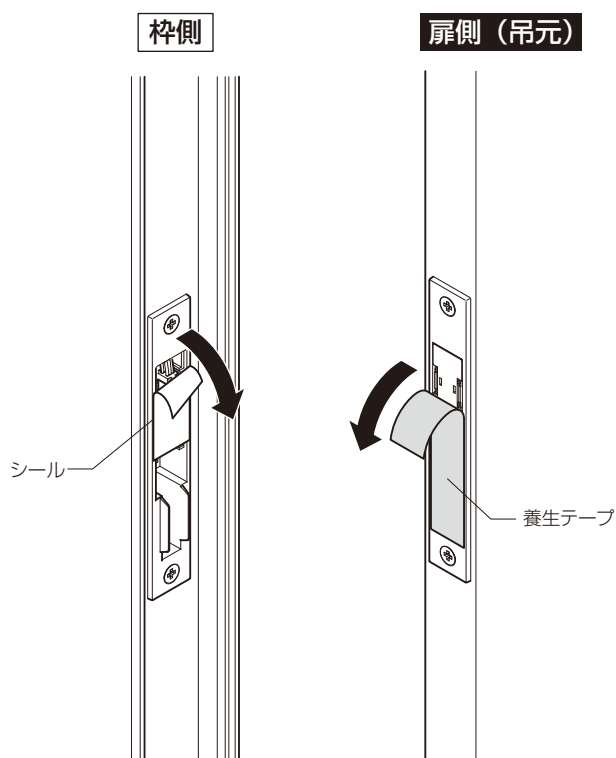
2 通電金具の接続

※図は子扉側の通電金具を示しています。

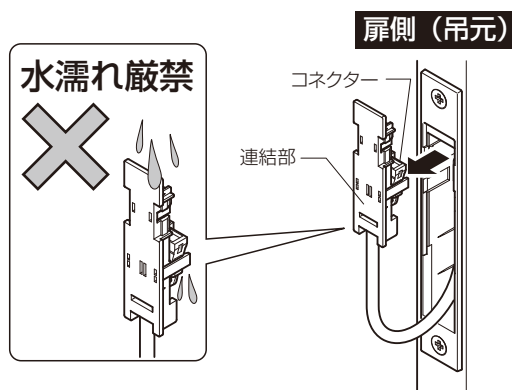
通電金具の接続上のご注意

- この作業は、扉を吊った後、扉を開けた状態で行ってください。
- 作業が終わるまでは扉を閉めないでください。
また、吊元側の作業ですので、扉が閉まり指を挟まれないよう十分ご注意ください。
- 自動開閉仕様の場合、子扉側だけでなくドア本体側も同様の手順で通電金具を接続します。詳細は枠の取付け説明書を参照ください。

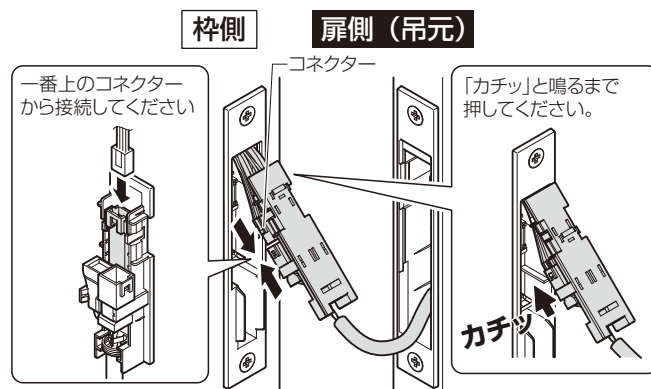
①枠側のシールと扉側の養生テープをはがします。



②扉側からコネクタ（連結部）を取り出します。

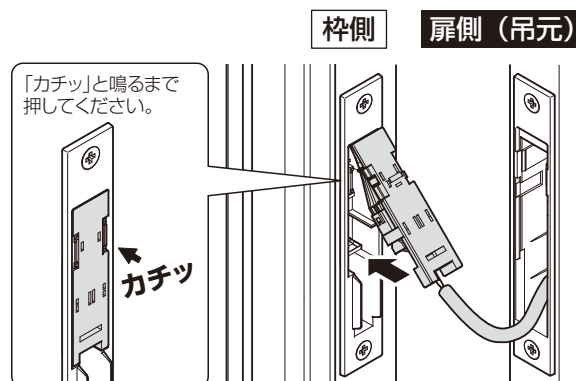


③扉側から取り出したコネクタを枠側のコネクタ3カ所に接続してください。



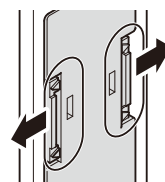
※コネクタが濡れたまま接続しないでください。接触不良の原因になります。

④連結部を枠側の通電金具にはめ込みます。



●メンテナンス時の対応 [通電金具連結部の外し方]

○部のツメを左右(↔)に広げると連結部が浮き上がって外れます。

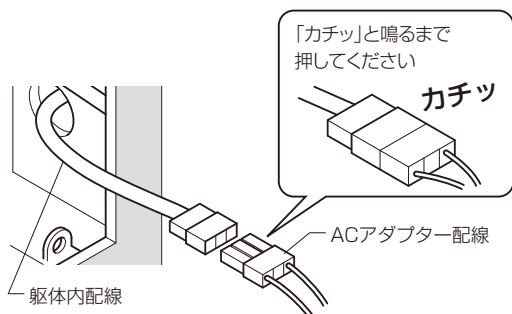


3 ACアダプターの取付け

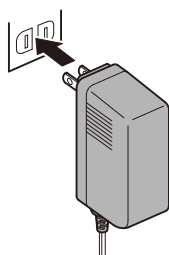
ACアダプターの取付け上のお願ひ

- ACアダプターをコンセントから抜いた際に断線する場合があるので、配線に余裕を持たせ設置してください。
- トラッキング防止のため、ご使用される方に定期的なお手入れをお願いしてください。

①躯体内配線と接続します。



②ACアダプターをコンセントに差込みます。

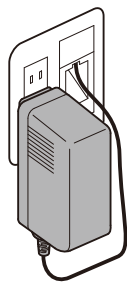


※ACアダプターをコンセントに差込んでも動作確認モードに入るまでは顔認証ユニットやオプションのユニット(非接触屋内ボタンや電動ドアクローザ)には電源供給されませんが、故障ではありません。

【設置例】

■外付けタイプ推奨(別売品)

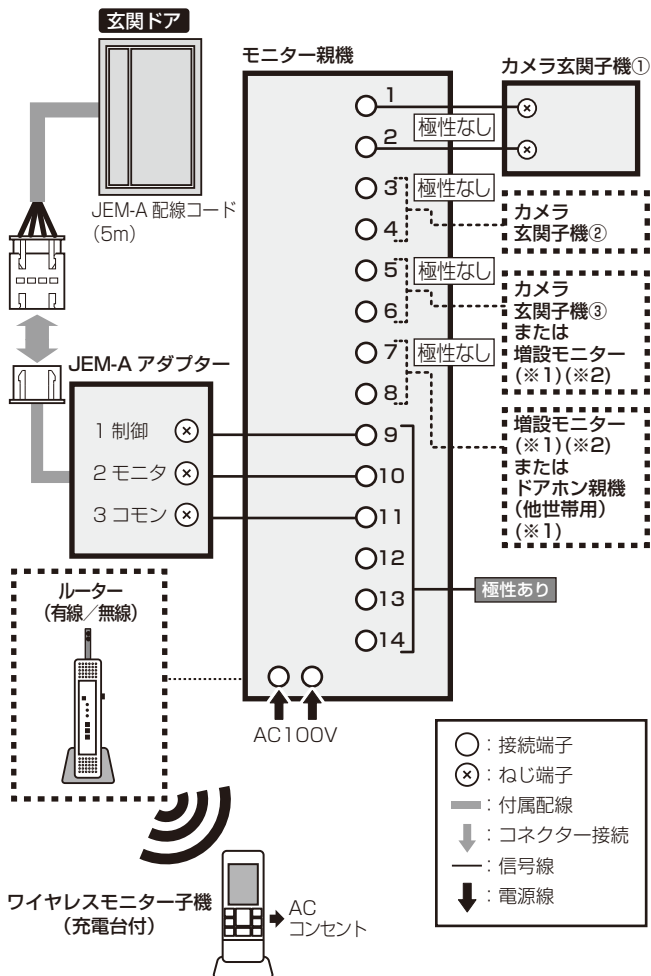
- ・埋込み扉付ダブルコンセント [WTF13523WK]
- ・埋込み通線カバー(取付枠付) [WT9171W]
- ・スイッチ+コンセントプレート [WTC7112W]
- ・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]



4 ドアホンの接続

■接続例(パナソニック製 外でもドアホン使用時)

※アイホン製のドアホン接続例は電気錠取扱ひポイントブック(表紙の二次元コード参照)を参照してください。



.....内の機器はオプション外となりますので、別途ご用意いただく必要があります。

商品名	取付け用部材(※1)
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※2)(※3)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)

※配線ケーブルは、P.3「配線図」を参考に手配してください。
なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※1 取付け用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用しなくとも直付け可能な機器もあります。)

※2 スwitchボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。

※3 木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付けねじで直付け可能です。

※外でもドアホンの施工や追加機器については、外でもドアホン同梱の取扱説明書・施工説明書をご確認ください。合わせてパナソニック社のホームページを参照ください。(右記二次元コード参照)





5 動作確認

動作確認上のお願い

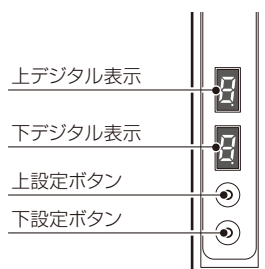
- 動作確認モードに入ると顔認証ユニットのディスプレイが点灯しますが、お施主さまに登録していただく操作のため画面操作はしないでください。
- 自動開閉仕様の場合、以下の点に気を付けてください。
 - ・動作確認モードを開始すると、自動で扉が閉まるため操作者は室内側へ移動して操作してください。
 - ・動作確認時には自動で扉が開くため、室外側に人がいないことを確認してから実施してください。

■動作確認モードとは

本製品は動作確認モードに入ること、各ユニットへの電源を供給し、動作確認が可能になるモードです。
※動作確認モードに入っていない場合、顔認証ユニットやオプションのユニット、電動ドアクローザには給電されずに動作しませんが、故障ではありません。

■デジタル表示と設定ボタンの操作方法

動作確認を行うためには、制御ユニット上にあるデジタル表示部の操作が必要です。デジタル表示の点灯と上下ボタンの関係は下記を参照してください。



上設定ボタンを押すと上デジタル表示の数字が、
0 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → E → 1 → . . .

下設定ボタンを押すと下デジタル表示の数字が

0 → 1 → 2 → 0

と繰り返ります。

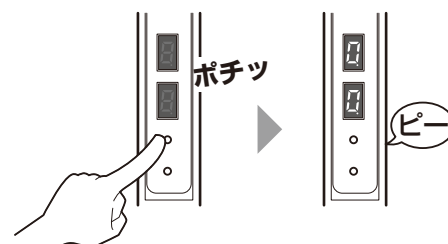
名称	機能
上デジタル表示 (設定項目表示)	上下のデジタル表示を合わせた際に十の位の数値を示す
下デジタル表示 (設定値表示)	上下のデジタル表示を合わせた際に一の位の数値を示す
上設定ボタン (設定項目ボタン)	押した際にデジタル表示(上)の数字が進みます
下設定ボタン (設定値ボタン)	押した際にデジタル表示(下)の数字が進みます

■動作確認モードの開始方法

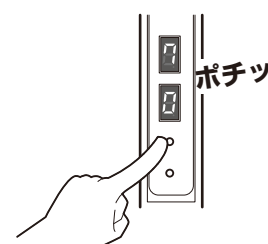
- ①ドアを開けて、制御ユニットのカバーのねじをゆるめてカバーを外します。



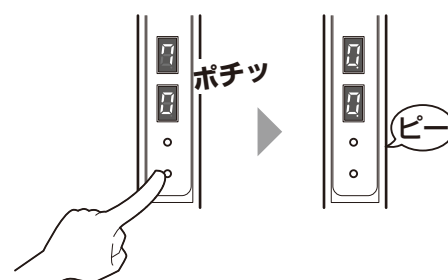
- ②上下どちらかの設定ボタンを短押しすると、デジタル表示が「00」に点灯します。



- ③上設定ボタンを繰り返し短押ししてデジタル表示を「70」にします。



- ④「70」の状態の下設定ボタンを5秒以上長押しすると、デジタル表示が「00」なり、動作確認モードが始まります。
(動作確認方法はP.9をご確認ください。)



■動作確認モード移行時の注意事項

動作確認モードへ移行時、誤ってデジタル表示が「00」の状態の下設定ボタンを長押しするとお施主様が使用するモードになってしまいます。上記の操作をしてしまった場合は、再度動作確認モードに入りなおして動作確認を実施してください。

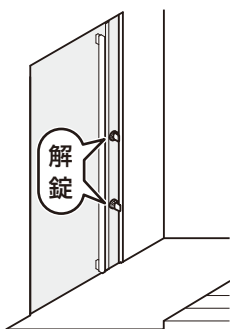
5 動作確認(つづき)

■ドアの動作確認

①室内からドアを閉めて上下両方のカギを閉めます。

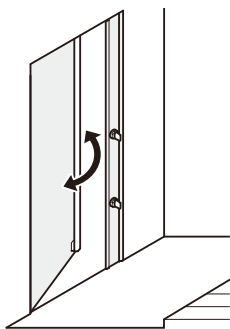


②カギを閉めてから5秒後、電動でカギが開きます。

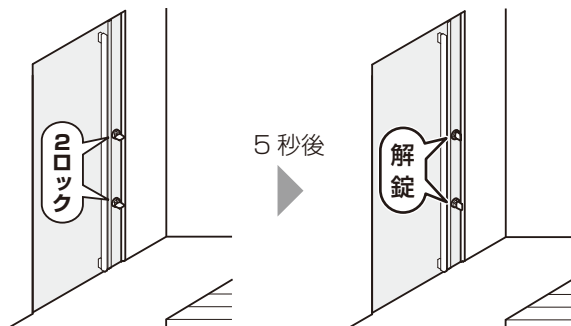


③手動でドアを開閉します。

※自動開閉仕様の場合、②で電動でカギが開いたあとに自動でドアが開閉します。



④カギが電動で施錠し、5秒後に解錠されれば正常です。



■顔認証ユニットの動作確認

顔認証ユニットは屋外側にあるため、扉を開いて屋外側に移動してから確認をしてください。

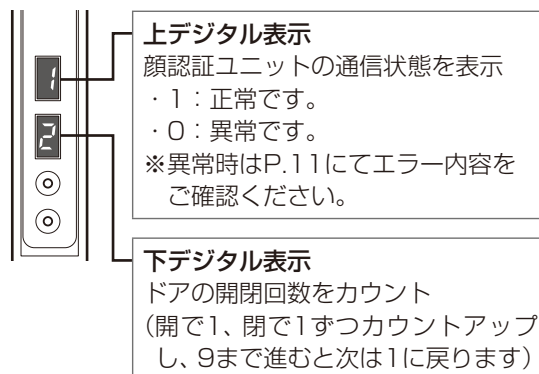
①動作確認モードに入ると顔認証ユニットのディスプレイが点灯します。しばらくしてパスワード設定画面が表示されることを確認します。

■動作確認時の注意事項

お施主さまが設定する内容のため、画面操作は行わないでください。



②デジタル表示を確認し、上デジタル表示が「1」であれば正常です。

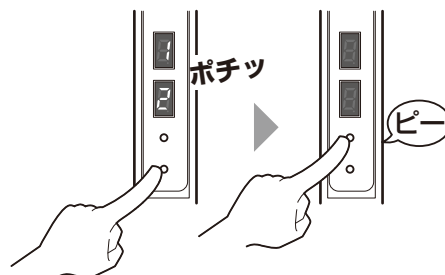


■動作確認モードの終了方法

下記どちらかの操作を行うと動作確認モードが終了し、各ユニットの電源がOFFになります。

※再度動作確認をしたい場合は、P.8を参考に再度動作確認モードに入ってください。

- ・ 何も操作せずに5分間経過させる
- ・ 上下どちらかの設定ボタンを押す



■動作確認時のトラブルシューティング

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
コンセントに AC アダプターを差したのに ユニットに電源が入らない	動作確認モードに入っていない 動作確認モードが時間切れで終了している	デジタル表示の操作にて 動作確認モードに切り替え てください。	P.8
動作確認モードにて確認途中にモードが 終了してしまった	何も操作をせずに 5 分が経過して動作確認 モードが時間切れで終了してしまった		
顔認証ユニットが起動中にディスプレイが ついたり消えたりする	製品の仕様上そのような状態になる場合があ ります。故障ではありません。	—	—
動作確認モードを実行したが、何もせず 5 分経過しても顔認証ユニットの電源が OFF にならない	動作確認モードでなく、お施主さまが使用す るモードに入ってしまった可能性があります	動作確認モードに入ってから、モードを終了させて顔 認証ユニットの電源を OFF にしてください。	P.8
扉が自動で開かない (電動ドアクローザ使用の場合)	電動ドアクローザの電源が入っていない	電源スイッチを入れてくだ さい。ドアの開閉速度の調 整を実施してください。	—
		コネクタやケーブルに抜 けがないか確認してくださ い。 通電金具やケーブルは正し い縦枠に接続されている か確認してください。	—

※電動ドアクローザの操作方法については「電動ドアクローザ取付け説明書」を参照ください。

■制御ユニットデジタル表示部のエラー表示

対象	デジタル表示	エラー内容	対処方法
顔認証ユニット		機器にエラーがありました。	LIXIL修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
			
電気箱錠(上)		機器にエラーがありました。	LIXIL修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
		上の錠(デッドボルト)がストライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のエラー表示が出る場合は、建付け調整を行ってください。 →(お施主さま用保存版取扱い説明書)
電気箱錠(上下)		ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉めてください。
電気箱錠(下)		機器にエラーがありました。	LIXIL修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
		下の錠(デッドボルト)がストライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のエラー表示が出る場合は、建付け調整を行ってください。 →(お施主さま用保存版取扱い説明書)
電動ドアクローザ		機器にエラーがありました。	LIXIL修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
制御ユニット		機器にエラーがありました。	LIXIL修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にエラー表示を伝えご相談ください。
	点灯なし 		

■商品仕様

■顔認証ユニット

登録ユーザー数	最大1000人
同時認証人数	1人

■非接触屋内ボタン

検出方式	マイクロウェーブ方式
出力周波数	24.125GHz
検出範囲	0.1～0.5m

■ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	60W
出力電圧	24V

■使用環境

使用温度範囲	－10℃～50℃
使用湿度範囲	30～90% RH（結露／氷結なきこと）